

かくとだにえやはいぶよの
ついでえす

さしも草やしも知らじな

燃ゆる思ひを

このようにあなたを思っているということ
さえ打ち明けることができないので
すから、まして伊吹山のさしも草のように
私の心の中で燃える思ひをご存知ではない
でしょうね。

(藤原実方朝臣 第五一番)

中一二三